

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【公開番号】特開2016-193392(P2016-193392A)

【公開日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2016-064

【出願番号】特願2015-73758(P2015-73758)

【国際特許分類】

B 0 1 D	45/08	(2006.01)
B 0 1 D	47/10	(2006.01)
B 0 1 D	53/92	(2006.01)
F 0 2 M	26/35	(2016.01)
F 0 2 M	26/22	(2016.01)
B 6 3 H	21/32	(2006.01)
B 6 3 H	21/14	(2006.01)
F 0 1 N	3/04	(2006.01)
F 0 1 N	13/00	(2010.01)

【F I】

B 0 1 D	45/08	Z A B B
B 0 1 D	47/10	Z
B 0 1 D	53/92	2 1 5
B 0 1 D	53/92	3 3 1
F 0 2 M	25/07	5 8 0 D
F 0 2 M	25/07	5 8 0 E
B 6 3 H	21/32	Z
B 6 3 H	21/14	
F 0 1 N	3/04	Z
F 0 1 N	13/00	B

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月26日(2016.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

流体の入口部と出口部が設けられるケーシングと、

前記ケーシング内で流体からミストを除去するデミスタ本体と、

前記デミスタ本体の下部に連結されて前記デミスタ本体により分離された前記ミストを下方に導くドレン誘導部と、

前記ドレン誘導部から前記デミスタ本体への流体の流入を阻止する封止部と、

前記ケーシング内のドレンを下方に排出するドレン排出管と、

前記ドレン排出管から排出されたドレンを貯留する貯水タンクと、

前記ケーシングにおける前記デミスタ本体より上流側の上流側通路または前記デミスタ本体より下流側の下流側通路と前記貯水タンクの上部とを連通する連通管と、

を備えることを特徴とするデミスタユニット。

【請求項2】

前記ドレン誘導部は、基端部が前記デミスタ本体の下部に連結されるドレン管であり、前記封止部は、前記ドレン管内に貯水することで流体の流入を阻止することを特徴とする請求項1に記載のデミスタユニット。

【請求項3】

前記封止部は、前記ドレン管に設けられる貯水部であることを特徴とする請求項2に記載のデミスタユニット。

【請求項4】

前記ドレン管は、上端部が前記デミスタ本体の下部に連結される直線部と、前記直線部の下端部に連結されて上方に屈曲する前記貯水部としての屈曲部とを備えることを特徴とする請求項3に記載のデミスタユニット。

【請求項5】

前記ドレン管は、前記ドレン排出管に連結されることを特徴とする請求項1から請求項4のいずれか一項に記載のデミスタユニット。

【請求項6】

前記ドレン管は、前記封止部が前記ケーシングの外側に配置されることを特徴とする請求項5に記載のデミスタユニット。

【請求項7】

前記ケーシング内のドレンを下方に排出するドレン排出管と、前記ドレン排出管から排出されたドレンを貯留する貯水タンクとが設けられ、前記ドレン管は、前記ケーシング内に開口されることを特徴とする請求項2から請求項4のいずれか一項に記載のデミスタユニット。

【請求項8】

前記封止部は、前記ケーシングに設けられる貯水部であり、前記ドレン管の先端部が前記貯水部に連通されることを特徴とする請求項2に記載のデミスタユニット。

【請求項9】

前記ケーシング内のドレンを下方に排出するドレン排出管と、前記ドレン排出管から排出されたドレンを貯留する貯水タンクとが設けられ、前記ドレン排出管の上端部が前記ケーシングの底部より上方に開口することで前記貯水部が設けられることを特徴とする請求項8に記載のデミスタユニット。

【請求項10】

前記ケーシング内のドレンを下方に排出するドレン排出管と、前記ドレン排出管から排出されたドレンを貯留する貯水タンクとが設けられ、前記ケーシングの底部に仕切板が固定されることで前記貯水部が設けられることを特徴とする請求項8に記載のデミスタユニット。

【請求項11】

前記仕切板は、下端部に排出孔が形成されることを特徴とする請求項10に記載のデミスタユニット。

【請求項12】

エンジンから排出された排ガスの一部を燃焼用気体の一部として前記エンジンに再循環する排ガス再循環ラインと、

前記排ガス再循環ラインを流れる排ガスに対して水を噴射することで有害物質を除去するスクラバと、

前記スクラバから排出された排ガスが導入される請求項1から請求項11のいずれか一項に記載のデミスタユニットと、

を備えることを特徴とするEGRシステム。